

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市西区南堀江三丁目 16番30号	氏名	實船冷蔵株式会社 代表取締役社長 中井 宏
特定事業者の主たる業種		47倉庫業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に、冷凍水産物・水産加工品・畜産物・畜産加工品・農産物・農産加工品・冷凍食品その他食料品の冷蔵保管を行っており、大阪市内で本社、工場として港・南港の2事業所で行っている。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量			4,177 t-CO <sub>2</sub>
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)			4,499 t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)			4,050 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))			4,364 t-CO <sub>2</sub>
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.1 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.1 %
目標削減率に関する考え方			
<p>当社は冷蔵倉庫業で、使用エネルギーの大半が電気です、その為、節電に重点を置き、冷凍機の効率運転、消灯の励行、空調設備・照明設備の更新は高効率の省エネ機器を導入し、温室効果ガス排出量の抑制を図る。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(建物延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>1) 平成30年9月4日に発生した台風21号により、一事業所に於いては、屋上防水が飛散したが、復旧工事を行い、今年8月末完了した、屋上増し防熱による省エネが期待される。又一事業所では、H C F C から自然冷媒化事業を行い、平成31年4月から運転を開始した。省エネ10%が見込まれる為、今後の温室効果ガス削減が期待される。</p>
<p>1) 本社及び各工場に省エネ担当者を置き、省エネに関する講習会・説明会・見学会等への積極的な参加を行っている。</p>